

LPガスCP情報(2015年7月積み)

1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 395^{ドル} (前月比 -10^{ドル})

ブタン 425^{ドル} (前月比 -15^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が軟化するなか、LPガススポット市況も需給緩和を受けて軟化した。プロパンは不需要期、米国、アフリカのアーブ玉が大量にスエズ以東に流れCP先物市況は軟化傾向が続いた。第2週には原油高とトレーダーによる引き合いが強まったものの、フレートの高騰、シンガポールセミナーなどで市場は閑散、先物指標も軟化した。ナフサが原油市況に連れ安、アジアの石化用ブタン需要も強くはなくプロパン安ブタン高の спреッドは 30^{ドル}で推移。また、極東CFRはフレートが上昇したため堅調に推移、第3週でプロパン510^{ドル}、ブタン540^{ドル}どころ、ネットバックではディスカウント市況が続く、第4週にはプロパン490^{ドル}、ブタン520^{ドル}に下落した。なお、フレート市況はインドでの滞船、米、アフリカ積み玉の船舶需給が堅調で大幅に続騰した。バンカーオイルは原油市況に追随して軟化、6月月間平均364^{ドル}と前月比25^{ドル}の下落。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が増加し過去最高水準まで積み上がり続落、1日の236^{ドル}から19日には183^{ドル}まで下げたが、第4週は反発。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は第3週がプロパン350^{ドル}、ブタン400^{ドル}、第4週はプロパン360^{ドル}、ブタンは370^{ドル}に軟化した。

7月CPは前年同月比プロパン425^{ドル}、ブタン415^{ドル}のそれぞれ下落。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	107	113	119	127	117
CP先物指標：P	400	410	400	398	402
CP先物指標：B	440	440	430	428	435

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは5月60.20^{ドル}でスタートし、29日には58.33^{ドル}と軟化した。北海ブレント、ドバイ原油も月末のギリシャ債務問題で2ヶ月ぶりの安値となった。5日のOPEC総会では生産目標は据え置かれ、米国原油生産量は過去最高水準を維持、全米原油在庫は減少しているものの超高水準が続いており、世界的供給過剰長期化懸念が市況を圧迫した。地政学的リスクは燻っているが、イラン核協議と市場復帰見込みは市況下押し要因。一方、NYMEXでは第4週のWTI総取組高が165.7万枚で前月末比1万枚増加、大口投機玉の買越残高は26日に32.7万枚と2万枚減少した。

○6月積みアラビアンライト(6月1~30日)は61.191^{ドル}(前月比-1.795^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン501.70^{ドル/トン} ブタン494.82^{ドル/トン}

AL比 プロパン78.73% ブタン85.89%

2. 2015年7~8月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	124.28	49,091	52,819	-1,100	-1,700
26~25日②	124.73	49,900	53,900	-2,700	-1,400
1~30日③	124.75	49,900	54,000	-3,100	-1,700

*TTS平均は①が6月16日~6月30日まで、②は5月26日~6月25日

③は6月1~30日、①は8月仕切への影響、②~③は7月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。